

# ほけんだより 10月

2021年10月4日  
貝塚市立第一中学校  
保健室

ようやく緊急事態宣言が解除されました。9月は一中でも2年生の学年閉鎖があり、不安な日々を送っていた人も多いのではないのでしょうか。10月から部活動も再開し、日常生活が戻ってきますが、まだ第6波への不安もあります。「WITH コロナ」と言われる今、皆さんに改めて意識してほしいことや、考えてほしいことが、文部科学大臣からのメッセージに凝縮されています。ぜひ、一中生のみなさんに読んでもらえたらと思います。



## 児童生徒等や学生の皆さんへ

新型コロナウイルスが広がってから、皆さんは、学校はどうなるのだろう、この先どうなるだろうと、不安だったのではないのでしょうか。皆さんに伝えたいことがあります。

まず、感染症にかからないようにするには、いくつかの方法があります。すでに皆さんが取り組んでいるように、話をするときにはマスクをしたり、手を洗ったり、具合が悪い場合には学校を休んだりしてもらうことです。そして何より、健康的な生活を送ることが大切です。それでも、これまでも皆さんは風邪をひいたり、インフルエンザになったりしました。今はさらに新型コロナウイルスが課題になっています。

この三つは、症状がよく似ています。ですから、今後、皆さんの誰もがこうした症状を経験することがあるでしょう。具合が悪い人の中には、新型コロナウイルスに感染したと診断される人も身近な人の中から出るかもしれません。もちろん、それが友達だと分かったら自分は大丈夫かなど不安になることもあるでしょう。

新型コロナウイルスには誰もが感染する可能性があります。感染した人が悪いということではありません。学校やクラスの中で感染することは悪いことだという雰囲気が出てしまうと、新型コロナウイルスに感染したと疑われることをおそれて、具合が悪くなっても、その後は言いだしにくくなったり、病院に行くのが遅くなったりしてしまいます。そうすると、さらに皆さんの地域で感染が広がってしまうかもしれません。

感染した人や症状のある人を責めるのではなく、思いやりの気持ちを持ち、感染した人たちが早く治るよう励まし、治って戻ってきたときには温かく迎えてほしいと思います。もし、自分が感染したり症状があったりしたら、友達にはどうしてほしいかということを考えて行動してほしいと思います。

すでに、感染した人達が心ない言葉をかけられたり、扱いをされたりしているという事例が起きています。こうしたことが皆さんの周りでも起きないように、皆さんにも協力してほしいのです。

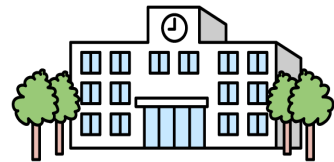
また、高齢者や病気がちの人は、感染すると症状が重くなってしまう危険があります。自分は元気だから大丈夫ということではなく、そのような人たちに感染させることがないように、思いやりの気持ちを持ってほしいと思います。

新型コロナウイルス感染症が広がり、皆さんの日々の生活は一変したと思います。以前のように、友達と会いにくくなり、スポーツや文化に触れる機会も少なくなり、将来への不安やストレスを抱えている人も多いでしょう。

これまで、私たち人間は、新型コロナウイルスのような新しい病気を経験してきました。そのたびに、世界中の研究者が病気の原因を探り、予防方法を見つけたり、薬の開発をしたりしてきました。そして、私たちは、病気と共存していく。この歴史は繰り返されています。新型コロナウイルスも研究が進んで解明されれば、予防と治療ができるようになり、新たな共存生活が始まります。

私たち大人は、皆さんの応援団として、将来の見通しを持ち、未来の社会の担い手である皆さんが学ぶ機会、遊ぶ機会、交流する機会を最大限作っていきます。それまで、皆さんは今自分ができる予防をしっかり行い、将来の目標を持ち、家庭や学校で日々の学びを続けてほしいと願っています。

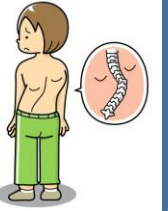
文部科学大臣



## 1年生全員&2・3年生対象者の方へ

### 脊柱側弯症一次検査（モアシ検査）

既に別紙でもお伝えしましたが、新型コロナウイルス感染拡大予防のために、延期していた脊柱側弯症一次検査を、**10月11日(月)3~7時間目**に実施します。当日は体操服登校をしてください。



## 色覚検査のお知らせ

色覚検査は平成15年度から法律の改正により定期健康診断では行われていません。色の見え方についての特性を知っておきたい方や気になることがある方は、保健室で色覚検査表による検査を個別に受けることができます。ご希望の方は、下記申込用紙を**10月12日(火)まで**に担任まで提出してください。尚、色覚は生まれ持った特性ですので、変化することはありません。検査毎に結果が変わるものではありませんので、毎年の検査は不要です。

### ◆色の見え方の特性について◆

目の赤・青・緑のそれぞれの色を認識する感覚が弱い、もしくは欠けているなどの理由で、違った色の見え方をする人がいます。色の見え方に特性がある人は、男性で5%、女性で0.2%の割合でいますが、大半は日常生活に支障を感じることはないと言われています。しかし、授業を受けたり、職業進路選択にあたり、色覚についての特性を知っておくためにも、検査は大切です。

### ◆手続き・検査方法◆

1. 検査を希望された方に検査の日時を伝えます。(申込日から数日後になります。)
2. 検査は保健室で個別に行います(数分で終わります。)
3. 検査結果を封書でお渡しします。

✂ キリトリ

### 色覚検査申込書

令和3年 月 日

貝塚市立第一中学校長様

色覚検査を希望します

年 組 生徒名

保護者名

\*上記に必要事項をご記入のうえ、担任まで提出してください。